



7/30

三野町児童公園周辺で「<sup>しよ</sup>みのがふるさと おもっ笑まつり」が開催されました。たべもの広場やフリーマーケットが催されたほか、いやだに神農太鼓の奉納から始まった特設ステージ上では、さまざまな出し物が披露されました。各保育所・幼稚園の総出で踊った「みのサンバ」や中学生ブラスバンド部の演奏の後には、ダンス、舞踊、バンド演奏、マジックなど、個性豊かな芸能合戦が繰り広げられ、会場は夜遅くまでにぎわいました。



8/上旬

三豊市内の中学校に在籍する中学3年生20名がオーストラリア・クィーンズランド州ミラニ市へ8月3日～10日の8日間、17名がアメリカ・ウィスコンシン州ワウパカ市へ8月4日～13日の10日間、ホームステイに行きました。

英会話で苦労することも多くありましたが、現地で経験することはすべてが新鮮でした。生徒たちは風景を見て、言葉を聞いて、料理を味わって……五感のすべてで異国の風を感じてきました。



8/6

財田町の香川用水記念公園で、水辺の納涼祭が行われ、水に親しみ、香川用水について理解を深めてもらうと毎年この時期に開催しているもので、魚のすくい取りコーナーや財田町の鍬おどりなどの郷土芸能の披露、花火大会など多彩なイベントが催され、終日にぎわいました。



8/3

豊中町保健センター調理室で豊中町内の親子40名がクッキング教室を行いました。

子どもたちは、ふだん学校でおいしい給食を作っている調理員さんに教わりながら給食の人気メニューの「とうふ入りドライカレー」など5品の料理を手際よく作り上げました。

包丁を使うのは、今日が初めての子どももいましたが、自分たちで作った料理の味は格別おいしく、みんなで楽しくいただきました。

8/5

仁尾支所とその周辺で第19回仁尾竜まつりが開催されました。踊りコンテストや総踊り大会が終わるといよいよ雨乞い竜の登場。稲わらと青竹で作られた長さ35m、重さ3tの巨大な竜を160人もの人が担ぎ上げ、「そおれ竜に水あぶせ」と練り歩き、沿道の見物客は手にしたバケツで力いっぱい竜に水を浴びせかけました。





8/12・15

甲子園に出場した香川西高校の応援に、延べ1,600人もの応援団が甲子園に駆けつけ、西高ナインに声援を送りました。三豊市誕生の年にいただいた最高のプレゼント。本当に暑い夏になりました。



8/13

三野町の大見小学校で大見盆踊り大会が開催されました。「三野町大見盆踊り保存会」が伝統文化を後世に引き継ごうと毎年実施しており、今年も浴衣姿の家族連れが大勢集まりました。小さな子どもたちもお年寄りも、地域に古くから伝わる踊りの「まねき」や、「よさこい鳴子踊り」などを夜が更けるまで楽しみました。

詫間町市民運動場とその周辺で第35回たくま港まつりが開催されました。祭りのメインイベント 舞い舞たくま踊りコンテストでは、思い思いの衣装と振り付けで、18連約550人の踊り手がサンバのリズムに合わせ元気いっぱい踊りました。最後は700発の花火を打ち上げ、三豊市の夏祭りを締めくくりました。

8/12



8/19・20

詫間町市民運動場野球場他で第20回浦島太郎旗争奪少年少女スポーツ大会が行われ、野球26チーム、バレー15チームが参加し熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

- |     |     |             |
|-----|-----|-------------|
| 野球  | 優勝  | 豊浜少年野球      |
|     | 準優勝 | 豊中スポーツ少年団   |
| バレー | 優勝  | 下高瀬スポーツ少年団A |
|     | 準優勝 | 詫間ジュニアバレーA  |
|     | 3位  | 四箇バレーボール    |
|     |     | スポーツ少年団     |